

SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

成長につなぐ — 事例17ゴールズ&169ターゲット

92

東京大学未来ビジョン研究センター教授

高村 ゆかり

2021年、22年と、国では、カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)に関する法律案、法律の改正案の工程・成立が続き、21年には、パリ協定が定める気候変動抑制の長期目標「2度C目標」「1.5度C目標」を踏まえ、50年までの脱炭素社会の実現を基本理念として追加するなど、地球温暖化対策推進法(温対法)が改正された。22年には、非化石エネルギーへの転換に関する中長期的な計画の作成を事業者を求めることなど化石エネルギーから

動き出す空港の脱炭素化

未来を
変える

2021年、22年と、国では、カーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)に関する法律案、法律の改正案の工程・成立が続き、21年には、パリ協定が定める気候変動抑制の長期目標「2度C目標」「1.5度C目標」を踏まえ、50年までの脱炭素社会の実現を基本理念として追加するなど、地球温暖化対策推進法(温対法)が改正された。22年には、非化石エネルギーへの転換に関する中長期的な計画の作成を事業者を求めることなど化石エネルギーから



標を定め、気候変動政策に産業戦略としての位置が与えられることにより、脱炭素化政策は広範な分野に浸透し始めている。22年に成立した航空法、空港法の改正はそのよい例だ。航空分野全体の脱炭素化の推進と感染症の影響からの回復への支援措置をともに進めることを狙う。その背景には、国のカーボンニュートラル目標の設定とともに、国際的な航空分野の脱炭素化の動きがある。国際民間航空機関(ICAO)は、国際航空からの二酸化炭素(CO2)排出量を21年以降19年の排出量以下に抑えるという目標達成のために、「CORC(2019)」と呼ばれる制度を設置した。航空会社は19年の排出量を基準に一定の削減義務が設定され、義務量を超えた排出量は条件を満たす排出クレジットを用いて償却することが求められる。いかに排出量を削減できるかは、航空会社にとって空港にとっても重要な課題である。日本航空も全

人と地球に優しいモノづくり実践



高松機械工業が4月に稼働させた「あさひ工場」(石川、白山市)の所在地の「白山市旭丘(あさひがおか)」を名に、この工場には、人と地球に優しいモノづくりをするための設備や仕組みの数々を施している。例えば、井水を利用した空調システム。通年で温度が安定している井水で、夏季は予冷効果、冬季は予熱効果が得られ、冷暖房にかかる電気の使用量を大幅に削減する。また、本社工場への移動

高松機械工業 高松機械工業が4月に稼働させた「あさひ工場」(石川、白山市)の所在地の「白山市旭丘(あさひがおか)」を名に、この工場には、人と地球に優しいモノづくりをするための設備や仕組みの数々を施している。例えば、井水を利用した空調システム。通年で温度が安定している井水で、夏季は予冷効果、冬季は予熱効果が得られ、冷暖房にかかる電気の使用量を大幅に削減する。また、本社工場への移動



用2台の電気自動車(EV)と、充電スポットを備えており、EVで来た顧客の充電も可能にした。また、営業フロアには従業員が自由に移動できるフリーアドレス制を導入。会議室風のテーブルやソファ席といった多彩な座席、自由に配置換え可能なミーティングスペースなどを設け、その日の業務内容に合わせて社員が自由に席を選べる。これにより、社員同士のコミュニケーションの活性化、業務の柔軟性・進。あさひ工場にこれらの設備を導入したのも、その理由の一つだ。

工場間の移動に2台のEVを活用。工場内ではドライバーシイター(動き方の多様性)に関する施策も実施している。コロナ禍以降の新しい生活様式に対応するため、ウェルネスを推進した効率の良い働き方を実践する。あさひ工場と本社間では互いの状況をリアルタイムでチェックできるモニタ

波及効果大きく 創意工夫 一体推進を

周辺地域活性化の効果も期待

日空もグループ全体で50年までのCO2排出実質ゼロ目標を掲げて取り組みを進めている。ICAOでは、パリ協定の1.5度C目標と整合的に、例えば、50年排出実質ゼロに、その目標をさらに引き上げようという動きもある。今回の航空法等の改正では、航空分野全体における脱炭素化を総合的かつ計画的に推進するために、国土交通大臣が「航空脱炭素化推進基本方針」を策定する。そして、低炭素の機材の導入や持続可能な航空燃料(SAF)の導入などの取り組みを推進するため、航空会社が「航空運送事業脱炭素化推進計画」を作成し、また、空港における取り組みを推進するため、国土交通大臣が「空港脱炭素化推進計画」を作成し、それぞれ国土交通大臣が認定する。こうした取り組みにより、日本の航空会社全体で30年度までにCO2の年間排出量を基準年(国際航空が19年、国内航空が13年)の総排出量以下とする。そして、空港(空港での自家消費の検討など)、航空機に関する取り組み、など多岐にわたる。

脱炭素化をめざす法の制定・改正が続く	
第2021年 第100回国会	地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律(温対法改正)・プラスチック資源循環促進法・公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律の一部を改正する法律(改正後の法律名は、脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律)
第2022年 第101回国会	地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律(温対法改正)・環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進に関する法律・安定的なエネルギー供給構造の確立を図るためのエネルギーの使用の合理化等に関する法律等の一部を改正する法律(省エネ法改正(改正後の法律名は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律)、エネルギー供給高度化法改正、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構法改正、電気事業法改正など)・航空法等の一部を改正する法律(航空法改正、空港法改正など)・脱炭素社会の実現に資する建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律(建築物省エネ法改正、建築基準法改正など)

かかわる事業者も多い。法改正では、航空会社や空港管理者をはじめとする関係者が一体となり取り組みを推進するための、「空港脱炭素化推進協議会」制度の創設なども定める。空港の脱炭素化は、ウクライナ情勢などで供給不安やエネルギー価格の上昇をもちあわせている。エネルギー供給を確保し、エネルギーコストを抑えるという点で事業者には大きなメリットがある。災害時などに空港の運用を支えるという点で、レジリエンスを高め、周辺地域にとっても重要な避難や救援の拠点ともなりうる。空港と航空事業者の競争力強化とともに、その経済的波及効果も大きい。地域の活性化と脱炭素化にも貢献する創意工夫ある取り組みが進むことを期待している。

情報BOX

◆CO2排出ゼロへ中間目標
LEXCELは二酸化炭素(CO2)排出削減目標を、2030年度までにスコップ1(自社の燃料使用に伴う排出量と同2(自社の電力使用に伴う排出量)で19年3月期比50%減、同3(供給網全体の排出量)で同30%減に設定した。同社は環境ビジョン「ゼロカーボン・サーキュラー・リネーシング(CO2ゼロ循環型社会)」を掲げ、50年までに事業過程と製品・サービスによるCO2排出実質ゼロを目指すに当たり、中間目標とする。目標は「科学的根拠に基づいた目標」(Net Zero)が7月から適用する新基準に合致した。脱炭素化に向けた取り組みに伴い、エネルギー効率の高い高性能住宅への転換が進む可能性があることから、国内事業では戸建て住宅向け高性能住宅をはじめ、節湯水栓・節水型トイレの販売構成比を高めることを、気候関連の機会を評価する指標に設定している。

◆「グッドライフアワード」募集
環境省は持続可能な社会の実現に向けた暮らしを支える活動を表彰する「第10回グッドライフアワード」の募集を始めた。企業や学校、自治体、個人など7部門を対象とし、サステナブルデザイン賞、環境地域プランニング賞、環境社会イノベーション賞、SDGビジネス賞、生物多様性賞など12の賞を選定。最優秀賞には環境大臣賞を贈る。応募はアワード公式ホームページから。締め切りは9月20日。前回は環境大臣賞にアイ・グリッド・ソリューションズ(東京都千代田区)やキミカ(東京都中央区)を選んだ。

試作・小ロット～量産まで！
工場直販なので低価格！短納期！
加工可能圧着端子は 2000 種以上！

一貫生産ラインによる

高品質
信頼性

タカチ製ハーネス

素早い対応が
顧客満足度につながる

高池は単体のハーネスからケーブル加工品、組みハーネス、周辺機器のハーネス加工までハーネス全般を幅広く手掛け、電線コネクタ、オーディオハーネスの工場直販サイトも運営。製造・全国発送で数多くのニーズに応えている。

社員全員がものづくりのスペシャリストであり、効率化省資源化高品質のためにチャレンジし続け、顧客の生産効率とトータルコストを考えた製品製造工程を提案できる。また、2020年8月には新社屋も完成。設立20年ほどで静岡、山梨、フィリピンに生産拠点を拡大し、ハーネス業界活性化と中小企業へのつくりを支えている。

チャレンジを恐れ
ファクトワーカーの

小ロットから自動機半自動機での大量生産まで対応可能で、大手ができない小回りの利いた顧客視点のサービスには定評がある。特に小ロット生産品や試作品など、製作から納期までに抜群のスピード力と柔軟な対応力を有している事は同社の強みだ。また、受注する部署と生産部門が離れていると在庫確認などのやり取りに時間がかかってしまいが、生産管理部門が全てを把握しているため、在庫納期の回答がすぐできる。

ワイヤーハーネス加工、電線加工を生業とする企業を応援するサイト「配線お役立ちサイト」では、運営者である同社のノウハウを公開することにより、ワイヤーハーネス業界全体の業務効率化、製品品質アップに寄与している。

株式会社高池
https://www.n-takachi.com/
TEL: 055-935-0521

ハーネス、ソレノイド、配線関係の部品・加工のことなら株式会社高池にお任せ下さい。
製品に関するご要望やお見積り、納期のことなどご相談に応じます。
お気軽にお問い合わせ下さい。

最新ニュース

小ロットから自動機半自動機での大量生産まで対応可能で、大手ができない小回りの利いた顧客視点のサービスには定評がある。特に小ロット生産品や試作品など、製作から納期までに抜群のスピード力と柔軟な対応力を有している事は同社の強みだ。また、受注する部署と生産部門が離れていると在庫確認などのやり取りに時間がかかってしまいが、生産管理部門が全てを把握しているため、在庫納期の回答がすぐできる。

Takachi

株式会社高池
https://www.n-takachi.com/
TEL: 055-935-0521

水を蒸発させると
シリコンゴム皮膜ができる

ADM

シリコンエマルジョンエラストマー
シリーズ

アサヒシリコン	MRX-2269	
	MRX-2556	(軟らかいタイプ)
	MRX-3414	(カチオンタイプ)
	SOFUTNER 330	(生ゴムタイプ)

旭染料製造は、シリコンの重合・エマルジョン化を行うメーカーです。
消泡剤・離型剤・柔軟剤・摩擦堅牢度向上剤・防汚剤など各種取り揃え
シリコンエマルジョン化技術よりお客様のニーズに応えてまいります。

旭染料製造株式会社 (旭化学工業100%子会社)

本社 〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南 3-12-17 TEL 06-6301-4938
福岡工場 〒913-0038 福井県坂井市三国町米納津テクノポート 2-4-2 TEL 0776-81-6000

www.chem-asahi.co.jp/dyestuff/

企業・協賛

旭染料製造株式会社

旭染料製造株式会社